

# 市民と議会との対話集会報告書

平成30年9月6日  
総務企画消防委員会

## 1. 対話相手方

別府市消防団 団長、副団長、分団長、副分団長

## 2. テーマ

「消防団の活性化」について

## 3. 場所及び日時

場所：別府市消防本部

日時：平成30年6月29日（金）10時45分～12時00分

## 4. 内容

参加者が5つの班に分かれ、ワークショップ形式にて対話を行った。

対話の中で、様々な課題、意見及び対策が出された。主な内容は、下記のとおり。

《課題》	《意見・対策》
<ul style="list-style-type: none"><li>●各班共通の課題<ul style="list-style-type: none"><li>・消防団員の不足、若手の確保</li><li>・団員の高齢化</li><li>・活動への参加率低下</li><li>・仕事と消防団活動の両立</li></ul></li><li>●その他の課題<ul style="list-style-type: none"><li>・出勤手当等報酬の改善</li><li>・女性団員の加入促進</li><li>・自治会と消防団の協力体制</li></ul></li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ケーブルテレビ、市報を利用した募集のPR</li><li>・市職員の団員促進</li><li>・各企業への市税等の優遇措置</li><li>・OBの活用</li></ul> <ul style="list-style-type: none"><li>⇒ 分団への補助金、寄付を募る</li><li>⇒ 女性団員への報酬とは別の手当での支給</li><li>⇒ 自治会と消防団との定期的は打ち合わせ、密な連絡体制の強化</li></ul>

## 5. 所感

少子高齢・人口減少社会の進展、核家族化や就業構造の変化などから消防団員の確保と活動に大きな影響がでており課題となっている。近年の防災・減災に対する市民意識の高まり、また少子高齢社会における地域コミュニティの活性化、現役世代の「ワークライフバランスのとれた働き方」が求められている中で、消防団が地域防災の中心的な存在だけでなく、平時から地域に根付いた地域コミュニティの活性化にも大きな役割を果たしていることを考えたとき、消防団に入団しやすく活動しやすい整備環境は急務である。そしてその取り組みがこれからの時代に対応しうる市民生活や福祉、社会の在り方に結びついていく1つの施策でもあると考えられる。そのためにも市民と行政による協働の在り方、連携に向けた取り組みの一層の推進と検討が求められていると感じている。